

記者提供資料
令和3年8月1日
危機管理課（担当：西垣）
電話 559-5057（直通） 内線 2320

新型コロナウイルス感染症への対応について（第119報）

新型コロナウイルス感染症への対応について、以下のとおりお知らせします。

- (1) 市長メッセージ **別紙1**のとおり
- (2) 市内公共施設の利用制限について **別紙2**のとおり
(地域創生部市民協働室協働推進課他)
- (3) スポーツ施設の事務所開所時間及び駐車場利用時間の取扱いについて
(まちの再生部地域整備室公園みどり課) **別紙3**のとおり
- (4) 千丈寺湖周辺公園のバーベキュー等の利用禁止期間の延長について
(まちの再生部地域整備室公園みどり課) **別紙4**のとおり
- (5) 市や指定管理者の主催するイベント等の対応方針について **別紙5**のとおり
(危機管理課)
- (6) 職員の分散勤務の継続実施について **別紙6**のとおり
(経営管理部行政管理室人事課)

別紙1

市長メッセージ

第5波の感染急拡大の懸念

兵庫県の新規感染者数は、ステージⅣの水準に迫りつつあるなど、再び感染増加の局面に入っています。三田市でも、夏休み時期を迎えて更に人出は増えると思われ、第5波の感染急拡大が懸念されます。このような状況から、本市は、8月2日から8月31日まで「まん延防止等重点措置実施区域」に指定されました。

市民の皆様には、以下の3点についてご注意いただくとともに、その対応にご理解、ご協力をお願いいたします。

- 1、感染力の強い変異ウイルスによる感染拡大
- 2、若い世代への感染の広がり
- 3、感染症への危機意識の希薄化

1点目につきましては、従来のものから感染力が強い変異ウイルスに置き換わりつつあり、感染が急速に広がっています。40代～50代であっても重症化のリスクがありますので、家庭内や職場に感染を持ち込まないためにも、複数人での会食や県境をまたぐ不要不急の移動を控えるなど、感染リスクが高まる行動は避けるようにしてください。

2点目について、三田市においても、若い世代を中心に感染が広がっています。高齢者へのワクチン接種が一定の感染抑制に効果を発揮していますが、これらのワクチン接種の効果を若い世代の皆様へ広げていくのが、今後の目標です。

ワクチン接種につきましては、遅くとも10月～11月までの期間に希望するすべての方に接種いただけるよう、国、県にワクチン供給を強く要請するとともに、市役所の体制を万全に整え、全力で取り組んでまいります。

若い世代の皆様には、自分を守るだけでなく、ご家族や社会を守るためにも積極的な接種へのご理解をお願いいたします。

3点目については、これまで兵庫県では、3度の「緊急事態宣言」、今回3度目となる「まん延防止等重点措置実施区域指定」と取り組みが度重なり、第5波の感染急拡大の危機が迫っているなか、「危機感の薄れ」が指摘されています。ワクチン接種された方も含め、今一度、マスクの着用、手洗い、「3密」の回避など、基本となる感染症対策の徹底を心がけていただけるようお願いいたします。

東京2020オリンピックが始まり、連日、日本人選手の活躍が報道されています。応援する際には、大人数での集まりは避け、自宅で家族とともに選手へのエールを送っていただきますようお願いいたします。「自分を守り、人を守り、そして三田を守る」ためにも市民の皆様のご協力をお願いいたします。

令和3年8月1日

三田市長 森 哲男

市内公共施設の利用制限について

兵庫県がまん延防止等重点措置実施区域に指定されたことから、県対処方針に基づき感染症対策を行うため、下記のとおり市内公共施設の利用制限を行います。

(※多世代交流館シニア・ユースひろばについては閉館時間を 20 時 30 分から 20 時に変更しています。ご注意ください。)

記

1 実施期間 令和 3 年 8 月 2 日(月)～ 8 月 31 日(火)

※ 9 月 1 日(水)以降につきましては、あらためて市ホームページや施設窓口などでお知らせいたします。

※ 本市や近隣地域でクラスター感染(集団感染)が生じた場合など、感染状況により対応方針の見直しや利用の全面停止を行うなど必要な措置を講じてまいります。

2 対象施設

【共通の感染予防対策依頼事項】

- ① 発熱、咳などの症状のある人は利用を控える
- ② 手洗い、手指消毒、特別な理由がある場合を除きマスク等の着用、使用備品の消毒
- ③ 密閉・密集・密接状態の回避(換気、利用人数の制限、人と人との距離)
- ④ 利用者の氏名・連絡先等の把握(参加者名簿の作成、保管)
- ⑤ 館内での飲食の禁止(水分補給は可)
- ⑥ 公園内への持ち込み飲酒は禁止

【市民センター等】

施設名	現在 (感染リバウンド防止対策の延長) (～8/1)	変更 (まん延防止等重点措置期間) (8/2～8/31)
【体育施設以外】 さんだ・広野・藍・フラワータウン・ウッディタウンの各市民センター、有馬富士共生センター、高平ふるさと交流センター、ふれあいと創造の里、総合福祉保健センター、まちづくり協働センター	<ul style="list-style-type: none"> ・閉館時間を 20 時とします ・利用人数は定員の 1/2 以内 ・フリースペースは利用不可 	・同左
【屋外体育施設】 高平ふるさと交流センターグラウンド	<ul style="list-style-type: none"> ・閉館時間を 20 時とします 	・同左
ふれあいと創造の里グラウンド	<ul style="list-style-type: none"> ・閉館時間を 19 時とします (通常閉館) 	・同左
【屋内体育施設】 高平ふるさと交流センター(多目的ホール)、ふれあいと創造の里(三田勤労者体育センター)	<ul style="list-style-type: none"> ・閉館時間を 20 時とします ・利用人数 50 人まで (1/2 面利用の場合は 25 人まで) ・更衣室は利用人数を制限 	・同左

【社会教育施設・総合文化センター】

施設名	現在 (感染リバウンド防止対策の延長) (~8/1)	変更 (まん延防止等重点措置期間) (8/2~8/31)
図書館 (本館、ウッディタウン分館、 藍分室)	<ul style="list-style-type: none"> ・貸出返却のみ対応 ・カフェルーム(本館のみ)、オープンスペースは利用停止 ・本館(9:00~20:00) ・分館(9:00~20:00)、分室(10:00~18:00) 	・同左
心道会館	<ul style="list-style-type: none"> ・閉館時間を20時とします ・利用人数30人まで 	・同左
淡路風車の丘 ガラス工芸館 有馬富士自然学習センター	<ul style="list-style-type: none"> ・利用人数は定員の1/2以内 	・同左
野外活動センター	<ul style="list-style-type: none"> ・平常通り、(バンガロー、テントサイトの利用は同居家族のみ、キャビン利用定員の1/2ただし、県内利用者に限る) ・飲酒行為は不可 	・同左
総合文化センター(郷の音ホール)	<ul style="list-style-type: none"> ・閉館時間を20時とします ・利用人数は定員の1/2以内、ただし、大小ホール・リハーサル室での大声を発しない利用については利用定員のとおり ・フリースペースは利用不可 	・同左
三田ふるさと学習館 旧九鬼家住宅資料館 三輪明神窯史跡園	<ul style="list-style-type: none"> ・【共通の感染予防対策依頼事項】のみ 	・同左

【子育て関連施設】

施設名	現在 (感染リバウンド防止対策の延長) (~8/1)	変更 (まん延防止等重点措置期間) (8/2~8/31)
【地域子育て支援拠点】 多世代交流館 駅前子育て交流ひろば 地域子育て支援センター 駒ヶ谷運動公園子育て交流ひろば 【児童厚生施設】 池尻児童館	<ul style="list-style-type: none"> ・時間帯を区切り、利用人数は定員の1/2以内 	・同左
【多世代交流施設】 多世代交流館シニア・ユースひろば	<ul style="list-style-type: none"> ・通常閉館(20時30分)とします。(※日曜日閉館時間:17時30分) ・時間帯を区切り、利用人数は定員の1/2以内 	<ul style="list-style-type: none"> ・閉館時間を20時とします。(※日曜日閉館時間:17時30分) ・同左

【公園等スポーツ施設】

施設名	現在 (感染リバウンド防止対策の延長) (~8/1)	変更 (まん延防止等重点措置期間) (8/2~8/31)
【屋外施設】 城山公園、三田谷公園、中央公園、学園東公園、駒ヶ谷運動公園、テクノ公園、小野公園、下青野公園	<ul style="list-style-type: none"> ・ アメニススキップースタジアム(城山公園野球場)、テニスコート(城山公園)、多目的広場(駒ヶ谷運動公園)は 20 時を閉館時間とします。 ・ 上記以外の施設は平常通りの閉館時間とします。 ・ 更衣室・シャワー室は利用人数を制限します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>同左</u>
【屋内施設】 アメニス城山体育館、親和学園駒ヶ谷体育館	<ul style="list-style-type: none"> ・ 閉館時間を 20 時とします。 ・ 利用人数は、メインアリーナ 1/3 面、サブアリーナ 1 面につき 30 人までとします。 ・ アメニス城山体育館内の多目的室、親和学園駒ヶ谷体育館内のフィットネススタジオ、マシンジムの利用人数 15 人までとします。 ・ 会議室等の利用人数は定員の 1/2 以内とします。 ・ 更衣室、シャワー室は利用人数、を制限します。 ・ フリースペースは、利用不可 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>同左</u>

3 兵庫県新型コロナ追跡システム・新型コロナウイルス接触確認アプリの活用

- ・ 「兵庫県新型コロナ追跡システム」、「新型コロナウイルス接触確認アプリ『COCOA』(厚生労働省)」を活用してください。

4 その他

- ・ 各施設に関する相談は、各利用施設までお願いします。

【市民センター等】

地域創生部市民協働室協働推進課
(担当:多田)直通 559-5039(内線 2470)

【社会教育施設・総合文化センター】

地域創生部市民協働室文化スポーツ課
(担当:横溝)直通 559-5145(内線 2410)

【子育て関連施設】

子ども・未来部子ども未来室すくすく子育て課
(担当:杉山)直通 559-5079(内線 2610)

【公園等スポーツ施設】

まちの再生部地域整備室公園みどり課
(担当:青野)直通 559-5110(内線 2840)

スポーツ施設の事務所開所時間及び駐車場利用時間の取扱いについて

兵庫県が、「まん延防止等重点措置」実施区域に指定されたことから、次の施設について事務所開所時間及び駐車場利用時間制限を延長します。

1. 対象施設 ・ 駒ヶ谷運動公園 ・ 城山公園 ・ 中央公園 ・ 三田谷公園
 ・ 下青野公園

2. 実施期間 令和3年5月12日(水)～8月31日(火)

3. 実施内容

○事務所開所時間

公園名	事務所開所時間
駒ヶ谷運動公園	7時00分～20時00分
城山公園	
中央公園	7時00分～19時00分 ※ 通常時間
三田谷公園	
下青野公園	

○駐車場利用時間

公園名	駐車場利用時間
駒ヶ谷運動公園	7時00分～20時30分
城山公園	
中央公園	7時00分～19時30分 ※ 通常時間
三田谷公園	
下青野公園	

- ・ 駒ヶ谷運動公園、城山公園の駐車場は、20時30分に入口ゲートを閉鎖しますが、出口についてはカラーコーンを設置します。

4. その他 今後の状況によっては、期間を延長する場合があります。

まちの再生部 地域整備室
 公園みどり課 (青野)
 直通 559-5110 (内戦 2840)

別紙 4

千丈寺湖周辺公園のバーベキュー等の利用禁止期間の延長について

兵庫県が、「まん延防止等重点措置」実施区域に指定されたことから、千丈寺湖（青野ダム）周辺公園のバーベキュー禁止、持ち込み飲酒の禁止期間を延長します。

1. 実施期間 令和3年4月25日(日)～8月31日(火)

2. バーベキューや持ち込み飲酒を禁止する公園

- ・下青野公園
- ・小野公園
- ・加茂山第1公園
- ・加茂山第2公園
- ・加茂山第3公園

※ その他の公園においては、バーベキューなど火気類の使用を禁止しています。

まちの再生部地域整備室
公園みどり課（青野）
直通 559-5110（内線 2840）

市や指定管理者が主催するイベント等の対応方針について(改定)

市や指定管理者が主催するイベント等の対応方針については、兵庫県の方針を踏まえ以下のとおりとします。

1. 基本的な考え方

市や指定管理者が主催するイベント等の実施にあたっては、県の対応方針等も参酌し、主催者として新型コロナウイルス感染症防止対策を講じるとともに、参加者への遵守事項を明確にし、協力を得ながら実施する。

2. 本対応方針の対象範囲と実施期間

(1)対象範囲

市主催（共催を含む）及び指定管理者が実施するセミナー、講演会、講座・教室^{※1}文化・スポーツイベント^{※2}等

※1 講座・教室(音楽、スポーツ、子供向けの催し等)

※2 文化・スポーツイベント(スポーツ交流大会、総合体育大会、文化イベント等)

(2)実施期間

令和3年8月2日から令和3年8月31日まで

※国、県の対応方針の変更、また感染拡大の状況によっては見直しを行う。

3. 開催の可否の判断

以下の要件をすべて満たすものについて開催可能とする。

なお、判断に際しては、関係団体との共催などによるものは、十分に調整し判断すること。

(1)使用する施設の利用条件を遵守している。

(2)参加者数の上限など以下の条件を遵守している。

○参加者数の上限

7/12~8/1			8/2~8/31		
区 分	収容定員	人数上限	区 分	収容定員	人数上限
大声での歓声・声援等がないことを前提とするもの	100%以内	5,000 人以下 又は収容定員の50%以内	大声での歓声・声援等がないことを前提とするもの	100%以内	5,000 人以下
大声での歓声・声援等が想定されるもの	50%以内 ※	(≤10,000 人) のいずれか大きい方	大声での歓声・声援等が想定されるもの	50%以内 ※	
(収容定員と人数上限のいずれか小さい方) 開催時間は 21 時まで			(収容定員と人数上限のいずれか小さい方) 開催時間は 21 時まで		

※異なるグループ間では座席を 1 席設け、同一グループ(5 人以内)では座席間隔を設けなくてよい。

○参加者等の直行・直帰を確保するために必要な周知・呼びかけ等を徹底する。

○ イベント参加者が 1,000 人を超えるようなイベントの開催を予定する場合には、必ず開催要件や感染防止対策等について、県対策本部事務局との事前相談を行う。

○ 「兵庫県新型コロナ追跡システム」QR コードの掲示を行う。

- (3) 密閉(換気が悪い)・密集(十分な距離確保ができない)・密接(近距離での会話など)を回避できる。
- (4) 飲食を伴う場合には、感染予防対策を徹底すること。
 - ・酒類は提供しない。
 - ・個室や多人数での座敷席等の使用は控える
 - ・座席の間隔を十分に空けるなど、三密の環境を徹底的に排除する
 - ・大皿での取り分けによる食品提供の自粛
 - ・適切な消毒・清掃が行われる
 - ・利用者同士の大声での会話を行わないよう周知する など

4. 開催時の対策

(1) 募集時における参加者への遵守事項の事前通知

- ① 以下に該当する場合は参加しないよう求める。
 - ・発熱・咳・咽頭痛などの症状がある。
 - ・同居の家族や、身近な人に新型コロナウイルス感染の疑いがある。
- ② 当日の自宅での検温を行うこと。
- ③ マスクを持参し着用すること。(スポーツイベント等については適宜判断)
- ④ 感染者発生時に備え参加者名簿作成に協力すること。(参加者の氏名、連絡先等の記入)
- ⑤ イベント等終了後、2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合には、健康福祉事務所(保健所)からの聞き取り調査の際に、イベントに参加したことを伝えるとともに濃厚接触者の特定などに協力する。
- ⑥ 大声での会話や応援をしないこと。
- ⑦ 感染防止のために主催者が決めた措置に従うこと。

(2) 開催時に実施するべき事項

- ① イベント参加者の把握(名簿の作成)
- ② 発熱・咳・咽頭痛などの症状がある方の参加を制限する。(検温・聞き取り等)
- ③ 換気の徹底
 - ・窓が開閉可能な場合は、窓を開けて行う又は休憩時等に窓を開けるなど、換気を徹底すること。また、冷暖房運転時にも、30分に5分程度の換気に努める。
- ④ 接触感染の防止
 - ・消毒用アルコールを備え付けること。入手が困難な場合はこまめな手洗いを徹底させること。
 - ・物品等を使用する場合は、消毒を徹底するとともに、複数人での共用をできるだけ回避すること。(マイク・パソコン等)
- ⑤ 飛沫感染の防止
 - ・席などの配置にあたっては、人と人との間に十分な距離の保持(1m以上)に努めること。
 - ・マスクの着用を徹底すること。(マスクを持参していない者がいた場合は主催者で配布する。)
 - ・演者が発声する場合、舞台から観客の間隔を(2m以上)確保するよう努めること。
- ⑥ 兵庫県新型コロナ追跡システム等の活用
 - ・「兵庫県新型コロナ追跡システム」の利用を周知(QRコードの掲示)
 - ・新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」(厚生労働省)の利用登録を周知

5. チェックリストの活用

開催可否の判断や実施状況の点検のためチェックリストを作成する。

※チェックリストはイベント等終了後も所管課において1月程度は保管しておくこと。

6. 後援(後援名義を含む)の取り扱い

市が後援(後援名義を含む)する場合は、本方針を遵守することを条件とする。

危機管理課(担当:西垣) 電話 559-5057 内線 2320

職員の分散勤務の継続実施について

1 趣旨

兵庫県がまん延防止等重点措置実施区域に指定されたことに伴う県の対処方針の改正を踏まえ、本市においても職場内や通勤途上における密集・密接の機会を少なくすることを目的として、市役所に出勤する職員の7割削減を目指し、在宅勤務や時差出勤などの制度を活用した分散勤務を継続して取り組みます。

【期間】 8月31日（火）まで

2 実施内容

1) 業務の選択と集中

各部長は、下記により対象業務の範囲を精査し、業務の優先順位をつける。
分散勤務体制期間中は、出勤者を抑制しながら、市民サービスを維持する。

	業務内容	削減率
①最優先業務	新型コロナウイルス感染拡大防止業務	0%
	市民生活に大きく影響する業務（生命や安全に関わるもの、緊急性の高いもの、法令で期日の定めがあるもの）のうち、在宅勤務や休日振替勤務では対応できないもの	
②優先業務	市民生活の維持に必要な業務で、在宅対応できないもの	70%
③一般業務	市民生活の維持に必要な業務だが、在宅で対応可能なもの	
④その他の業務	在宅勤務では支障があり、延期や中止等の検討が必要なもの	

2) 場所と日時の分散の取組み

(1) 在宅勤務

- ① 各職場において、在宅勤務の活用を徹底する。
- ② 国テレワーク及びテレワーク兵庫を積極的に活用すること。国・県ネットワーク登録者以外については、テレワーク共用パソコンを持ち帰ることにより実施すること。
- ③ 会計年度任用職員も、可能な限り在宅勤務ができるよう工夫をする。
- ④ 情報端末を持ち帰らずに在宅勤務するなど柔軟に対応する。

(2) 時差出勤制度と振替休暇制度の活用

- ① 時差出勤制度を積極的に活用すること。当面は、令和2年4月9日付事務連絡で通知した運用とする。
- ② 平日の出勤者を分散するため、平日の勤務を土日に振替え、1日当たりの職場人数の分散に努めること。

(3) オンライン会議等

- ① オンライン会議やグループウェアを活用した書面会議など、接触機会の低減に有効なツールを活用すること。

- ② 特に首都圏や大阪方面などへの出張等については、やむを得ない場合を除き延期又は中止すること。

(4) 分散勤務の例外措置を設ける職場等

- ① 新型コロナウイルス感染症対策業務（健康増進課、危機管理課等）
- ② 幹部職員（対策本部メンバー等） ③ 市民病院 ④ 消防本部

3 職員の健康管理

- ① 出勤時の自宅での検温、庁舎入口におけるサーモグラフィによる検温を徹底すること。
- ② 感染予防のため、定時退庁による健康管理に努めること。20時には完全退庁すること。
- ③ 職員の健康管理の観点から、年次休暇等の取得を奨励し、連続休暇取得を促進すること。また、在宅勤務と半日休、時間休の組み合わせも有効に活用すること。

4 接触機会低減等の取組み

- ① 通勤、勤務時間中のマスクの着用、人と人との間の十分な距離の確保、換気の徹底を行うこと。会議は、「3密」を避け、短時間で行えるよう工夫すること。
- ② 昼食時は、人とのスペースを広めにとり、密な状態を回避すること。
また、当面の間、自席で昼食をとることを可能とする。
- ③ 職員間の懇親会など大人数・長時間の飲食は控えること。

5 その他

- ① 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保に従事する職員の負担を軽減するため、引き続き、必要に応じて部を超えた応援体制により、対応していく。

経営管理部行政管理室 人事課（担当：前川） 直通 559-5037（内線 2340）
--